

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月14日

上場取引所 東

上場会社名 シャクリー・グローバル・グループ株式会社

コード番号 8205 URL

代表者 (役職名) 代表執行役

(氏名) 齋藤 匡司

問合せ先責任者 (役職名) 代表執行役管理本部長

(氏名) 湯田 芳久

TEL 03-3340-3601

四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	24,975	7.3	4,283	△15.7	4,164	△15.3	2,342	△12.3
26年3月期第2四半期	23,286	70.7	5,079	134.0	4,914	169.2	2,672	185.3

(注)包括利益 27年3月期第2四半期 3,345百万円 (13.1%) 26年3月期第2四半期 2,958百万円 (668.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	169.58	160.88
26年3月期第2四半期	136.64	136.13

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	47,517	15,831	33.1
26年3月期	46,835	12,695	26.8

(参考)自己資本 27年3月期第2四半期 15,705百万円 26年3月期 12,569百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,751	3.7	8,918	△20.0	8,335	△25.0	4,719	△35.6	346.44

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の前提となる為替レートにつきましては、当初1米ドル101.61円より、108.44円に変更しております。これは上半期までの実際平均レート103.01円と、銀行から入手した下半期の想定レート113.87円に基づいております。

なお、為替レートが円高となった場合は、予想を下回る可能性があります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご参照下さい。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照下さい。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期2Q	25,920,000 株	26年3月期	25,920,000 株
27年3月期2Q	12,298,770 株	26年3月期	11,899,266 株
27年3月期2Q	13,815,460 株	26年3月期2Q	19,559,363 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日までの6ヶ月間）におけるわが国経済は、企業収益・雇用情勢の改善が進む一方、消費税引き上げに伴う駆け込み需要の反動などから、不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、顧客やスーパーバイザーの増加に引き続き力を注いでまいりました。

当期の当社グループの売上高は、アジア事業での売上規模の増加により総売上高 44,247 百万円（前年同期比 5.4%増加、為替の影響を除くと 1.6%増加）、純売上高（売上割戻差引後）24,975 百万円（前年同期比 7.3%増加、為替の影響を除くと 3.4%増加）となりました。

営業利益は、アジア事業への投資を継続したことにより 4,283 百万円（前年同期比 15.7%減少、為替の影響を除くと 18.8%減少）となりました。

経常利益は 4,164 百万円（前年同期比 15.3%減少、為替の影響を除くと 18.5%減少）、四半期純利益は 2,342 百万円（前年同期比 12.3%減少、為替の影響を除くと 15.7%減少）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、主に現金及び預金が前連結会計年度末に比べ 2,138 百万円減少し、売掛金も減少しましたが、棚卸資産、有形・無形固定資産が増加しました。これらの結果、総資産は前連結会計年度末に比べ 682 百万円の増加となりました。

負債につきましては、未払売上割戻金、未払法人税等、未払費用、長期借入金等が減少した結果、総負債は前連結会計年度末に比べ 2,453 百万円の減少となりました。

純資産につきましては、四半期純利益の計上により 2,342 百万円増加し、為替の影響により、為替換算調整勘定が 966 百万円増加しました。また自己株式が 218 百万円増加したことなどから、純資産は前連結会計年度末に比べ 3,136 百万円増加しました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益と減価償却費、売上債権の減少による収入があった一方、法人税等の支払、たな卸資産の増加、未払売上割戻金の減少、未払費用の減少による支出等がありその結果、1,167 百万円の支出（前年同期は 2,630 百万円の収入）となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有形・無形固定資産の取得のための支出等により 858 百万円の支出（前年同期は 329 百万円の支出）となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金やリース債務の返済、自己株式の取得等により 886 百万円の支出（前年同期は 4,275 百万円の支出）となりました。また為替の換算差額により 773 百万円増加しました。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末より 2,138 百万円減少し、14,205 百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月9日に公表いたしました連結業績予想を修正しております。なお、当該業績予想の修正の詳細につきましては本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

業績予想の前提となる為替レートにつきましては、当初1米ドル 101.61円より、108.44円に変更しております。これは上半期までの実際平均レート 103.01円と、銀行から入手した下半期の想定レート 113.87円に基づいております。なお、為替レートが円高となった場合は、予想を下回る可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直しました。

この変更により四半期連結財務諸表に与える影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,351	14,213
売掛金	2,847	2,452
商品及び製品	5,495	7,146
原材料及び貯蔵品	2,516	2,935
その他	3,936	4,146
貸倒引当金	△39	△40
流動資産合計	31,106	30,854
固定資産		
有形固定資産	3,622	4,199
無形固定資産		
のれん	5,656	5,715
商標	3,935	4,220
その他	1,196	1,173
無形固定資産合計	10,788	11,109
投資その他の資産		
その他	1,317	1,354
投資その他の資産合計	1,317	1,354
固定資産合計	15,728	16,663
資産合計	46,835	47,517
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,040	2,140
1年内返済予定の長期借入金	947	962
1年以内のリース債務	478	493
未払売上割戻金	4,954	3,952
未払法人税等	1,563	311
未払費用	3,546	2,869
代理店研修会議費引当金	745	461
ポイント引当金	85	197
その他	2,333	3,082
流動負債合計	16,695	14,471
固定負債		
長期借入金	11,040	10,676
長期リース債務	2,104	2,103
役員退職慰労引当金	28	34
退職給付に係る負債	1,633	1,640
繰延税金負債	597	635
その他	2,039	2,125
固定負債合計	17,443	17,215
負債合計	34,139	31,686

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	1,196	1,202
利益剰余金	18,600	20,943
自己株式	△7,106	△7,324
株主資本合計	12,789	14,922
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7	6
為替換算調整勘定	178	1,144
退職給付に係る調整累計額	△406	△367
その他の包括利益累計額合計	△220	782
新株予約権	126	126
純資産合計	12,695	15,831
負債純資産合計	46,835	47,517

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	23,286	24,975
売上原価	7,670	8,930
売上総利益	15,615	16,045
販売費及び一般管理費	10,535	11,762
営業利益	5,079	4,283
営業外収益		
受取利息	17	19
為替差益	226	294
その他	4	14
営業外収益合計	247	328
営業外費用		
支払利息	298	313
その他	115	132
営業外費用合計	413	446
経常利益	4,914	4,164
特別利益		
保険差益	210	—
新株予約権戻入益	15	—
特別利益合計	226	—
税金等調整前四半期純利益	5,141	4,164
法人税等	2,468	1,821
四半期純利益	2,672	2,342

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
四半期純利益	2,672	2,342
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	△0
為替換算調整勘定	285	965
退職給付に係る調整額	—	38
その他の包括利益合計	286	1,003
四半期包括利益	2,958	3,345
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,958	3,345

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	5,141	4,164
減価償却費	394	515
のれん償却額	271	282
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	△0
受取利息及び受取配当金	△17	△19
支払利息	298	313
為替差損益 (△は益)	10	△62
保険差益	△210	—
売上債権の増減額 (△は増加)	351	470
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,553	△1,523
長期前払費用の増減額 (△は増加)	△83	92
仕入債務の増減額 (△は減少)	740	△18
未払売上割戻金の増減額 (△は減少)	△130	△1,214
未払費用の増減額 (△は減少)	△263	△831
代理店研修会議費引当金の増減額 (△は減少)	△60	△303
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△11	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	△69
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2	6
その他	△610	395
小計	4,266	2,197
利息及び配当金の受取額	17	19
利息の支払額	△268	△322
法人税等の支払額	△1,946	△3,122
法人税等の還付額	351	60
保険金の受取額	210	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,630	△1,167
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△206	△685
無形固定資産の取得による支出	△127	△82
従業員に対する貸付金の回収による収入	5	12
その他	—	△103
投資活動によるキャッシュ・フロー	△329	△858
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	850	—
長期借入金の返済による支出	△871	△471
リース債務の返済による支出	△198	△196
自己株式の取得による支出	△4,055	△217
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,275	△886
現金及び現金同等物に係る換算差額	232	773
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,741	△2,138
現金及び現金同等物の期首残高	13,939	16,344
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,198	14,205

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。